

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名	土地区画整理事業（まち交）		部課コード	1708	予算事業科目	010805030274	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	都市整備部	部長名（2次評価者）	橋詰 辰男		個別事務	全部	010805030274	-		
	担当部署	潮江西部都市整備課	所属長名（1次評価者）	中嶋 弘昭			-				
	電話番号	088-823-9376	E-mail	kc-170800@city.kochi.lg.jp			-				

1 事業の位置付け

予算科目（平成20年度）	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	01 A新しい価値を創造発信する都市	政策基本方針	創意工夫と活力に満ちた交流拠点にふさわしい都市空間の創出に向けて、求心力のある都市中心核の形成を図るとともに、良好な市街地の形成に努めます。
款	08 土木費	政策	01 にぎわいの都市空間整備		
項	05 都市計画費	施策	03 良好な市街地の形成		
目	03 土地区画整理費	区分	02 潮江西部都市整備促進		

2 事業の根拠

法律・政令・省令	土地区画整理法	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	施行規程に関する条例	
その他（計画、覚書等）	2001高知市総合計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民及び施工地区を利用する人全て			
意図	どのような状態にしていけるのか	土地区画整理事業による都市計画道路等の整備に伴い市街地の再編成を行うことにより災害に強い、快適で安全な生活づくりを行う。			
手段	事業実施体制等	基盤整備が整わないまま市街化が進んだ密集地域であり、道路状況や住宅状況の問題を解決する方法を調査研究し、他機関及び地元地権者との協議の上、幾つかの事業を併用することで災害に強い街づくりを形成。工事は工事請負契約による。	事業開始年度	平成8年度	
			事業終了年度	平成21年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●区画街路整備 ●街区公園の整備 ●自転車歩行者道路の整備 			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	区画街路の整備率	区域内の区画街路の整備率		
	B	街区公園の整備率	区域内の街区公園の整備率		
	C				

4 事業の実績等

		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄	
成果指標	A 区画街路の整備率	目標	54.6%(650m/1190m)	100%(1190m/1190m)	100%(1190m/1190m)		
		実績	46.6%(555m/1190m)	95.8%(1140m/1190m)	100%(1190m/1190m)		
	B 街区公園の整備率	目標	28.3%(789㎡/2789㎡)	28.3%(789㎡/2789㎡)	64.1%(1789㎡/2789㎡)		100%(2789㎡/2789㎡)
		実績	0%(0㎡/2789㎡)	28.3%(789㎡/2789㎡)	64.1%(1789㎡/2789㎡)		
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	254,800	58,750	10,000	20,000	
		財源内訳	国費 (千円)	101,920	23,500	7,000	
			県費 (千円)	0			
			市債 (千円)	114,660	26,438	2,250	
			その他 (千円)				
			一般財源 (千円)	38,220	8,813	750	
	翌年度への繰越額 (千円)	97,700	33,750	0			
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	6,000	1,200	0		
		正規職員 (千円)	6,000	1,200	0		
			その他 (千円)				
			人役数 (人)	0.80	0.16		
		正規職員 (人)	0.80	0.16	0.00		
			その他 (人)				
	総コスト = ① + ② (千円)		260,800	59,950	10,000		
市民1人当たりコスト (円)		797	176	29			
年度末住民基本台帳人数 (人)		327,310	341,544	340,695	総コスト/年度末人口		

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

都市機能の充実した市街地を形成し、宅地の利用増進を図るとともに住環境の改善及び向上を図り良好で活力のある都市空間の形成

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 4 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	本事業は、高知市総合計画に位置付けられており、潮江西部地区の良好な市街地を形成し、都市機能の円滑化及び居住環境の改善・向上を図ることを目的としている。 事業に対する市民ニーズは、事業実施の段階から変わっていない。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	A	4.0	
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	密集地域での事業実施にあたっては、住民の移転補償などを伴うため行政主体とならざるを得ず、アウトソーシングには馴染まない。 区画街路整備については、他補助事業との連携で事業を実施している。また、コスト削減にも努めており、概ね効率的に実施できている。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減の可能性] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	4.0	
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである			
総合点	16.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 11 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	事業は終息を迎えるが、22年度以降、清算事務へ移行して事業継続となる。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--